

## 令和6年8月定例教育委員会会議録

○日 時 令和6年8月22日(木) 午後3時00分～午後4時05分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦

1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)

2番 清野 康子

3番 中村 公俊

4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

○出席議事説明職員氏名

教育部長	永壽 祥司	参事兼管理課長	清野 健
管理課主幹	伊藤 智康	学校教育課長	今野 新一
学校教育課指導主幹	落合 正幸	社会教育課長	沼沢 紀恵
社会教育課文化主幹	五十嵐 依久子	参事兼スポーツ課長	阿部 三成
中央公民館長	観世 安司	図書館長	五十嵐 恭子
給食センター所長	小林 尚志		

○出席事務局職員氏名

管理課課長補佐 上野 美嘉

### 【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第21号 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価について

日程第2 議第22号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について(非公開)

5 報告事項

(1) 第19回鶴岡市芸術祭について

(2) 子ども読書推進講座「物語を読む楽しさ」について

(3) 山形小説家・ライター講座「第9回鶴岡出張講座特別編」について

(4) 令和6年度鹿児島市青少年団体リーダー研修生の受け入れについて

(5) 藤島地域小中学校整備検討の進捗について

(6) 図書館本館整備事業の進捗について

(7) その他

6 閉会

## 開 会 (午後 3 時)

教育長 ただいまから 8 月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

(社会教育課長が先唱し市民憲章唱和)

教育長 本日の会議録署名委員は、1 番委員に願います。

それでは議事に入る。はじめに、日程第 1 議第 2 1 号について、事務局より説明をお願いする。

管理課長 「事務事業の点検・評価」については、5 月定例教育委員会において、対象事業を議決いただいた後、点検評価個票について委員の皆様からご意見をいただくとともに、外部評価者からの点検と評価をいただいた。

今般、報告書案がまとまったので、改めて提案させていただく。

なお、委員の皆様からは、これまで当該報告書にお目通しいただいているので、このたびの説明は、外部評価者による評価内容について、概要を説明する。

初めに管理・学校教育分野については、元小学校長 栗田英明氏より評価をいただいた。

児童生徒、学校、地域の現状と課題をふまえ、各事業を実現しようとする前向きな姿勢により着実な成果が上がっている、と総括的な評価をいただいた。

個別事業について「通学対策事業」では、スクールバスの運行、通学経費助成による継続的な負担軽減に加え、地域交通の課題にも目を向け、スクールバスへの住民混乗や公共交通との相互利用などを今後の検討課題としている点を評価いただいた。「学校改築事業」では、朝陽第五小の改築事業において、ICT 環境の充実や災害への対応など、計画通り工事が進められていることに評価いただいた。また、防犯カメラの設置・更新など、補助金を活用した教育環境整備の計画的な推進に期待が寄せられた。

「地域とともにある学校づくり推進事業」では、学校運営協議会の設置校において学校と地域の協力関係が構築されつつあることへの評価や、地域で育成したい子ども像の共有と小中一貫した学びの協働促進に期待したいとの意見をいただいた。

「G I G A スクール構想推進事業」では、ネットワーク通信環境の増強と W i - F i 環境が整っていない家庭への支援により、タブレット型パソコンの利用環境がより円滑になったことへの評価と、「デジタルドリル」など学習ツールとしての有効性を高める支援策への期待をいただいた。

「学校系 I C T 機器等整備運用事業」では、校務支援ソフトやタイムレコーダー導入による校務の円滑化と効率化の推進が評価され、今後も I C

T環境の整備・充実が期待されたところである。

「学校給食センター管理運営事業」では、献立を通じた食文化の継承など、ユネスコ食文化創造都市である特色を生かした取組への評価と、施設の計画的な更新及び修繕に努めていただきたいとのご意見をいただいた。

次に、社会教育分野であるが、元中学校長 鈴木晃氏より評価をいただいた。

各事業とも市の目標に沿って、学習機会も地域や市民に幅広く提供されており、各事業の評価、方向性も妥当であるとの総括的なコメントをいただいた。

「家庭教育推進事業」では多忙な保護者への配慮に評価いただき、これからも地域や家庭での課題の把握に努め、学習機会や情報の提供を期待したい、との意見をいただいている。

「文化会館管理運営事業」では、運営委員会での会議を一般公開したことや、自主事業の数、参加者、情報発信など、市民目線での輪が広がっていると市民参加の観点からも評価をいただいた。

「文化財資料調査事業」では鶴ヶ岡城跡馬出遺構の出土石の活用について、QRコードでの解説は時代にマッチしているとの評価をいただいた。

「中央公民館市民学習促進事業」では、受講者へのアンケートの満足度の高さが評価された一方、課題としてPRとニーズの把握があげられ、講座後のアンケートを生かして、生活に密着した講座の開設を期待したい、との意見をいただいた。

「藤沢周平記念館管理運営事業」では、展示事業、ソフト事業ともに幅広くプログラムが提供されている、と評価をいただいた。

「図書館・郷土資料館管理運営事業」では、各事業が市民のニーズに当てているとの評価に加え、新図書館の整備構想を踏まえ、遅滞なく進めてほしいとの要望が寄せられた。

最後にスポーツ分野だが、元高等学校長 田中芳昭氏より評価をいただいた。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類になり、スポーツ活動の制限も徐々に緩和されての事業であったが、総合評価としては「第2期鶴岡市スポーツ推進計画」が策定され、今後5年間の市民スポーツの振興への取り組みが開始されたことに感謝したいとのコメントをいただいた。

個別事業を申し上げると「ウォーキング等普及推進事業」では、「市民の主体的・継続的な実践による健康・体力づくりの推進」に評価いただいたが「つるおかスポーツチャレンジ」「鶴ウォーカーポイント」では参加者・達成者の減少について、他の課と連携するなど、周知や参加しやすい環境をつくり運動習慣の定着化を図っていただきたい、との意見をいただいた。

「体育施設整備・管理運営事業」では、公共体育施設・学校開放とも利用者が増加し、ニーズの高さが見て取れるとのことであった。人工芝グラウンドの活用による地域活性化や、各施設の老朽化等に対する修繕計画の適切な実施について要望をいただいた。

「鶴岡市スポーツ少年団本部支援事業」については「学校部活動の地域への段階的移行」とも連携し、子どもがスポーツに親しむ機会・成長できる環境を整えていただきたい、とのご意見をいただいた。

今後のスケジュールとして、本日の協議、議決を経て最終決定した報告書を、9月初旬を目途に、鶴岡市議会議員に配付するとともに、市のホームページにも掲載し、広く市民の皆様に公表することとしている。

教育長

それではただいまの議第21号について、質問、意見はないか。

2番委員

内容的なことではないが、文章的な点について確認していただきたい。9ページ、評価1行目「同年10月以降破損」のあとの句読点と、10ページ、評価の上から4行目「長時間の会議でも円滑に実施できるよう」の次の句読点は不要でないか。25ページ、評価の4行目「本市の団員数は」で始まっているのに対し「加入率」で結んでいる点。26ページの方角性の2行目「スポーツ少年団活動の充実を図っていききたい。」の結びは方向性なので「いく。」が適当ではないか。28ページ、評価の2行目、土田義晴氏の「はる」という字は、「春」ではない。「晴れる」である。また、最近、土田義晴氏は漢字でなく、ひらがなで表記している場合もあるので、どちらが正しいかしっかり確認していただきたい。作家ご本人の名前であるので、きちんともう一度確認し、正確に修正していただきたい。また、今後の方向性2行目「利用を促進していききたい。」は「促進していく。」と言い切ったほうがよいのではないか。下から6行目「今後とも導入している。」とあるが「今後とも」に対して「導入している。」という結びは適正か。方向性であるのかかわらず、最後の文章が「館内の換気を行っている。」となっているが「行っていく。」の方がいいのではないか。

管理課長

評価いただいた後の本文の修正ということであるが、主旨が変わるような修正ではなかったかと思う。もちろん、間違いの箇所は正しく訂正し、最終案については改めて決裁を取るが、外部評価者からの評価や意見の内容について審議いただきたい。

教育長

ほかに意見、質問はないか。それでは、文言の修正等があったが、議第21号の内容について、賛同の方は挙手をお願いします。

各委員

(全員挙手)

教育長

全員挙手により可決された。

続いての議案であるが、日程第2議第22号は議会に上程される前の議題のため、非公開とすることに異議はないか。

- 各委員  
教育長 異議なし  
異議なしと認め、議第22号は非公開とする。  
(会議録は別記録とする)
- 教育長 予定された議事は以上である。  
続いて報告事項に入る。報告事項(1)について、事務局より報告をお願いする。
- 文化主幹 今年度の芸術祭は、8月28日(水)から12月1日(日)まで、荘銀タクト鶴岡、鶴岡アートフォーラム、中央公民館などを中心に開催する。  
47団体による40公演のほか、協賛事業として、各地域の文化祭も実施され、芸術の秋にふさわしい催しとなっている。  
開幕式典は8月31日(土)にアートフォーラムで、閉幕のつどいは12月21日(土)に東京第一ホテル鶴岡で行う。閉幕のつどいに関しては、教育委員の皆様もご案内する予定である。  
ぜひ、芸術祭参加公演に足をお運びいただくようお願いする。
- 教育長 ただいまの報告について、質問、意見等はないか。  
なければ次に、報告事項(2)(3)について、一括して事務局より説明をお願いする。
- 図書館長 報告事項(2)について説明申し上げる。  
こちらは隔年で開催している講座である。今回は、東京子ども図書館から小野寺先生を招き、絵本は親子の関わりで親しんで来たが、そこから文字が多い本に移行するときの移行期について聞きたいという声があるので、その部分を中心としたご講演を頂戴する。9月1日(日)の開催であるので、時間があればぜひご参加いただきたい。  
次に、報告事項(3)について説明する。  
今回で第9回になるが、鶴岡出張講座の案内である。今回はエッセイストの酒井順子先生を招き、提出された作品への講評とトークショーを開催する。酒井先生は、40年近いキャリアでエッセイストとして活躍されている方である。特に今年度、大河ドラマで取り上げられている平安時代の文学についての著書もあり、タイムリーな内容になったと思う。作品を出さなくても、トークショーも十分楽しめる内容になっているので、ぜひご参加いただきたくご案内する。
- 教育長 ただいまの報告について、質問、意見等はないか。  
なければ次に、報告事項(4)について、事務局より説明をお願いする。
- 中央公民館長 鹿児島市との青年研修交流は、隔年で行き来する形で、コロナ禍での休止を経て、令和5年度に再開し、昨年は10月に鶴岡市から鹿児島市へ3名

派遣したことから、令和6年度は本市が受け入れする年となる。本事業は、この交流を通して、鶴岡市と鹿児島市の関わりを学ぶとともに、地域づくりに貢献する青少年リーダーの養成を目的としている。受け入れ期間は、9月20日（金）から9月22日（日）までの3日間で、訪問される方は、研修生2名に加え、鹿児島市の引率職員1名の計3名、施設、史跡等の視察や青年団体との交流を行う予定である。主な日程としては、9月20日に鹿児島市からお越しになり、その日のうちに市長を表敬訪問し、終了後に交流会を開催する。翌9月21日、22日は施設見学等を行い、9月22日の昼の便で鹿児島市にお帰りになる。この間、中央公民館職員が随行し、交流会には教育長、教育部長のほか、昨年鹿児島市を訪問した3名の研修生の出席を調整している。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項（5）について、事務局より説明をお願いする。

管理課主幹

藤島地域小中学校整備検討委員会第1回会議について、会議での主な意見は明日の総合教育会議でもお示しするので、概要のみ説明する。

第1回会議は8月1日に開催した。これまでの経過、保護者アンケート結果を説明するとともに、整備検討委員会、各小学校区懇談会の論点について、それぞれの会で議論いただきたい点を説明した。

また施設形態と小中一貫校の類型、義務教育学校による期待される効果として、改めて施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）の理解を深めるため、かみ砕いた形で説明を行った。

教育委員会の基本的な考え方と今後の検討事項としては、保護者アンケートなどでいただいた懸念事項に対する対応の考え方と、文厚エリアとの関係、準備委員会が立ち上がった際の検討項目を説明した。

主な意見としては、提言を最大限尊重し、反対する理由や課題の解決について議論すべき、小規模校で十分育っているのだろうか、といった、集団生活による社会性についての意見。反対意見にある人間関係の固定化はむしろ小規模校の昔からの課題である、という意見。義務教育学校への理解度が低いため成果を示して説明していくべき、などの意見があった。また、小中は別に考えるべき、反対署名活動を踏まえるべき、教育の質の低下、幼保小連携の件、などが意見としてあった。

これらの意見も踏まえつつ、小学校区懇談会で説明し、議論いただく予定である。

なお、渡前小学校区懇談会の日程が、9月6日（金）に変更されている。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項（6）について、事務局より説明をお願いす

る。

図書館長

7月22日に企画懇話会を終了し、1回目の図書館ミーティングも7月31日に終了した。また、ヒアリングアンケートなども、個別の対象を区切って、随時実施している。懇話会では、有識者の12名の委員に集まっていたき会議を開催した。この中でアドバイザーの山崎先生から、図書館は建物だけではなく、中にある資料、それに関わる人も大事だという講話をいただいた。また委員の方からの主な意見として、全世代の居場所になるべき、人を育てる場所、鶴岡を発見発信する場になるべきなどの意見を頂戴した。自由参加で開催したつるおか図書館ミーティングは、参加者30人、うち高校生以下の若い方も5人参加いただいた。「あなたにとってよい図書館とは」というテーマで話をしていただいたところ、新しい情報に出会う場所、鶴岡の文化を知る場所なのではないか、居心地のよさや、アクセスのよさが大事なのではないか、などの意見を頂戴した。現在の図書館構想の策定の整備状況については以上である。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

4番委員

つるおか図書館ミーティングについて、とても興味があり行きたかったが、都合がつかず行けなかったところである。高校生以下の5人の方の年齢層はどうであったか、また、具体的にどのような意見が出されたかも分かれば伺いたい。

図書館長

高校生以下と申し上げたが、高校生が5人である。鶴岡工業高校の建築科の生徒が3人、致道館高校から2人お越しいただいた。ミーティング全体の意見として、アクセスのよさや、今の図書館の静かな雰囲気もいいが、それだけではないのではないかという意見もあった。

教育長

当日はグループ討議で、グループがぐるぐる回り、そのテーブルごとに、高校生も一生懸命話していた。内容は全部模式図の方にまとめて書かれて、私も、どれを高校生が言ったのかはわからなかったが、非常に積極的に話をしていた記憶がある。よく参加してくれたと褒めたところである。

教育長

ほかに質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項（7）その他「臨時代理処理の報告について」、事務局より説明をお願いします。

管理課長

臨時代理処理の報告について説明申し上げる。

「令和6年度教育費8月補正予算について」であるが、補正の内容としては、さきほどの議第22号で可決いただいた、藤島体育館等の大雨災害の復旧経費についてである。

専決処分した内容について承認を受けるため、市議会9月定例会に議案として提出されるものだが、8月9日付の専決処分にあたっても、教育委

員会に諮るべきとされている。その時点では、補正予算の要求から専決処分までの期間に教育委員会を招集する暇がないと判断されたことから、教育長が臨時に代理処理したものである。

手続き的な話ではあるが「鶴岡市教育委員会教育長に対する事務委任規則第1条第3項」の規定に基づき、本日の定例教育委員会に報告し、ご承認をお願いするものがある。

教育長 ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

1 番委員 落雷による破損という話で、先ほど説明があったが、今後の対策について、どのようにされるか、教えていただきたい。

スポーツ課長 数年前も藤島体育館で近くの庄内たがわ農協の施設に落雷し、地中を伝わってきた雷で、体育館の非常放送設備、消防設備の非常放送設備が破損した経過がある。藤島体育館の立地上、雷が通りやすいところなのかと思われる。今回、更新するランニングマシンや他にもコンセントに雷対策、雷ガードのようなものを活用するなど検討したい。

教育長 個人的なことだが、うちも雷の被害を受けたことがあり、保険で全額全部取りかえていただいた。公共施設の保険はないのか。

スポーツ課長 契約担当部署へ被害届を出している。建物であれば、市の公共施設保険に入っているので適用になる可能性があるが、ランニングマシンのような備品が対象になるか調査していただいているところである。もし適用になればそのまま保険金額として補償されるものという認識である。

教育長 ほかに質問、意見等はないか。

なければ承認してよろしいか。

各委員 異議なし。

教育長 ただいまの報告は承認された。

ほかに質問、意見等はないか。

2 番委員 先日、市長も学力調査のことを話していたが、鶴岡市の状況はどうだったのか

学校教育課長 概略的に申し上げますと、中学校、小学校とも、それぞれ2教科ずつは、まず県平均は上回っている状況である。全国平均についても、小学校については若干落ちてはいるが、それほど差異はなかった。中学校については、全体を上回っているという状況であった。またあわせてアンケート調査の方も行き、自己肯定感というのは令和4年から3年間続けて向上してる。これも80から90%弱くらいまで高まっているので、各学校で現場の先生方が一生懸命子供たちを称賛しながら、わかりやすい授業づくりに努めてくださっていると捉えている。

教育長 やはり子供が落ち着けば、学習が安定するので、学力は向上する。なので各学校で子供たちをしっかりと安定させていくということが、一番大事な

のかなと捉えている。

学校教育課長

補足する。

要請により指導主事が年数回、学校にて授業づくりについていろいろ指導する場面がある。我々指導主事たちも、学校に出向いたとき、このような指導をしましょう、と意思統一を図りながら、内容についても統一したものを提示できるように準備をしている。先生方もそれについて真摯に取り組んでいただいて、授業づくり授業力の向上にも繋がっている、というふうに捉えているところである。

教育長

ただいまの件について、質問、意見等はないか

なければこれをもって8月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後4時05分）